

(6) 委員の追加意見・要望等

1. 機関別認証評価の結果

評価結果をフィードバックすることにより、学校運営の改善に役立てるとともに、定期的な評価の実施により、学校における教育研究活動等の質が保証されていくものと考えます。

また、今後においても同評価の公表により、学校の状況を明らかにし、それらを社会に示すことにより、公共的な機関として新居浜高専が高い教育研究水準を維持しながら、適正な学校運営が継続されていることについて、地域の広い理解と支持が得られていくことを期待いたします。(佐々木委員)

「自学自習シート」「セルフプランニング実験」の取組みが評価されたのは大変喜ばしいことと思います。

就職率、進学率が高くなっていることは大いに評価できることです。ただ過去の日本全体の傾向として大学崇拜の時期がありましたが、高専が学歴主義の幻影に取り憑かれていないかと心配しています。進学して更なる勉強、研究を続けたいというのは評価できますが数が多いほど良いとは言えない。全員目標は違うはずで、進学する者は数%が妥当と思われれます。単に年齢だけで高専卒を短大卒相当と扱ってきたせいでもあります。昔は大卒並みとして扱われ、就職試験も大学生と並んで受けたものです。学歴偏重社会をもういいかげん壊す必要があるし高専がその突破口となれそうな気がします。(平田委員)

種々の角度から、多種・多様な取組が計画、実行されており、その成果が多くの「優れた点」として評価されているものと推察いたします。今後とも優れた点の更なるブラッシュアップや自己評価書に掲載した問題点の改善等、更に高い成果を目指して活動されるよう祈念致します。(塩田 北山委員代理)

2. 地域と連携した教育活動の取組

現代G P 事業において取り組まれている「小中学校教員教材開発実技研修会」や「まちづくり3プロジェクト」等については、現代G P 事業終了後も新居浜高専独自の地域連携事業として継続されるよう望みます。

また、地域産業との連携促進や子どもたちの理科離れ・ものづくり離れなど、地域が抱える課題の解決において、貴校のもつ技術や情報、人材などが一層活かされていくことを望みます。(佐々木委員)

出前授業は社会との接点、学力の向上等、受身人間からアクティブな活動をするタイプに変えてゆける素晴らしい取組みと思います。三方良し。

学生の参加分布の偏りが気になります。それと多量の学生&先生に参加して欲しい。(平田委員)

現代G P をベースとして、30回を超える出前授業による小中学校の科学教育の支援、これを遂行することによる学生の実践的人材教育、さらには高専市民講座や、ものづくり・実験を主体とした小中学生向け出前講座の開催等、高専の地域と連携した教育活動は先生方や学生の多大のご努力により着々と成果を上げているものと思われれます。現代G P 終了後もこれらの活動の継続、発展を期待しております。(塩田 北山委員代理)

3. 入学志願者の確保

上記2に記述させていただいた地域との連携に対する積極的な取組みが、入学志願者の確保に繋がるものと考えます。

また、公開授業の実施やマスメディアを活用した教育的成果の公開などPR活動の充実

も検討の余地があると考えます。

(佐々木委員)

鳥人間コンテストやロボコン等、強力に支援して学外に名を知らしめ、子供達の憧れの学校像をつくってゆく必要がある。

(平田委員)

少子化の折、優秀な学生の確保に先生方が大変な努力をされていることが、よくわかりました。受験者である中学生に対し高専を知ってもらうために各種のイベントを実施されておりますが、将来を技術者として歩むことを受験の段階で決定しなければならない中学生にとっての判断材料、動機付けとして、かかる活動は極めて重要であると思います。

(塩田 北山委員代理)

4. その他

特になし